

学生のみなさんと一緒に考える公共施設更新問題(津市)

公共施設更新問題(全国的な背景)

高度経済成長期に建築された公共施設の更新

人口減少と高齢化による公共施設ニーズの変化

一斉に更新時期を迎える公共施設の建替え
や大規模改修による多額の財政負担

適正な施設総量の把握と総量縮減

人口減少と高齢化に対応し続けられる施設整備

公共施設更新問題の核心

25年後の本市の背景

人口減少 ⇒ 54,400人(約19%)が減少

高齢化 ⇒ 65歳以上の高齢者人口が84,900人に増加(約37%)

津市の公共施設の状況

過大な床面積⇒全国平均が3.22㎡/人であるのに対し、本市は3.88㎡/人

機能の陳腐化⇒耐震性はあっても、進む機能の陳腐化

津市の公共施設の更新サイクルとそのピーク

大規模改修のピーク ⇒ 現時点から平成34年まで

建替えのピーク ⇒ 平成42年から平成53年まで

公共施設更新問題の核心は、いまのままの数・規模を維持しようとするれば、莫大な財政負担が発生するということ。

学生のみなさんと一緒に取り組んでいきたいこと(津市)

ステップ1

既存施設（公民館、市民センター等）及び用途廃止施設の見学
⇒ 具体的事例による公共施設の現状把握

ステップ2

公共施設再配置を検討する地域の選定

ステップ3

選定した地域の公共施設を地図上にプロット
⇒ 公共施設の配置状況を面的に現状把握

ステップ4

選定した地域の公共施設の調査
⇒ 利用状況、利用者層等を調査し、公共施設に対する需要の把握

ステップ5

分析・再配置案の作成
⇒ 選定地域における最適な公共施設の再配置案を作成